

公演企画書

ケイエムシネマ企画プロデュース公演

「アイコン ～息子がクスリに染まる時～」

原案：谷川 良

作：三島 ゆたか

演出：国枝 量平

2009年11月5日～8日

サンモールスタジオ

ごあいさつ

ケイエムシネマ企画ではこれまで芸能プロダクションとして活動しながら、その一方、舞台制作や教育用のビデオ・DVDの制作に携わってまいりました。

今年の5月に「薬物中毒」をテーマにしたDVDを制作協力することになり、薬物依存者の心理や置かれた状況などを学び、また彼らを更生に導く民間の薬物依存症リハビリ施設・ダルクのことを知りました。そこで舞台でこの薬物問題を取り上げようと考えました。

「アイコン ～息子がクスリに染まる時～」は、薬物（覚醒剤や大麻など）使用者本人だけでなく、その家族にも焦点をあてた物語です。

薬物がネットや街角で簡単に手に入る現代。使用者にならなくとも、いつ「その家族」になるかもしれません。そうした場合、私たちはどういう風にその問題を解決していけばいいのでしょうか。薬物依存は一生治らない病気だといわれます。（そもそも薬物依存症＝病気という認識も一般的に薄いかと思われます）その一生治らない病気に本人も家族も立ち向かっていかなければならないのです。

「人間やめますか？薬物やめますか？」の政府の広報コピーだけでは、いっこうにこの社会から薬物汚染は消えないのです。

今回の舞台にあたっては、ライブならではの迫力と説得力で「薬物依存」の怖ろしさを視覚的に訴えかけ、さらにその家族やまわりの人々の心情や救済策も丁寧に描いていきたいと思えます。むしろ単なる薬物舞台ではなく、家族のあり方、人としてのあり方を問う普遍的なテーマに根ざした人間ドラマだとお考えください。

ひとりでも多くの方々にご高覧頂ければ幸いです。

企画・プロデュース

ケイエムシネマ企画代表 山下真理

物語

川上家の長男、真一は厳格な家庭で育てられ、両親の期待を一身に受けていた。すでにサラリーマンとして働いており、結婚間近の婚約者・彩との同棲生活も順調だった。そんな真一が暴力事件を起こしてしまう・・・。
しかも真一は覚醒剤を使用しており、その幻覚によってある女性を傷つけたというのだ。

川上家にとっては青天の霹靂、とくに父、正臣は銀行の役員であるためか、はたまた性格的な問題か、この事件を封じ込めようとした。
そんな折、一通の手紙が舞い込んだ。
被害者のエリカの父、高山からの手紙だった。今度の日曜に会いに来るというのだ。

息子の起こした事件を必死にわびる両親と真一の妹、杏子。だが、意外にも高山が口にしたのは「助きたい、息子さんを」
エリカも薬物依存症だった。この事件が起きたことで娘は「底つき」を経験したというのだ。「底つき？」正臣らにとっては聞き慣れない言葉だった。
高山は薬物依存に陥った子どもを持つ家族が集う「家族会」で学んだことを次々と教えていく。でも、現実をなかなか受け入れられない家族達。しまいにはこれまで決して争うことがなかった三人がお互いの至らなさを責め、傷つけ合う。

一方、真一は職を失い、婚約者の彩とも別れ、失意のどん底にいた。それでもクスリがやめられないでいた。心配して訪ねてきてくれた友人、直人とも口論の末、喧嘩になりそうになった。「直人、彩を幸せにしてやってくれ！俺にはもうできないから！」そう頼むことが精一杯で彼はすべてを放棄した。

また川上家の人々もすべてをさらけ出したことで、いままで形ばかりの家族だったとようやく気づき、高山の言葉に素直に耳を傾けはじめる。
「薬物依存症は病気です。なかなか治りづらい病気ですが、いつかきっと治せるはずですよ！」
真一を救う方法。それはたったひとつ。

高山が家族に伝えた究極の助言とは・・・？
そして、高山の隠されていた驚くべき過去とは？

ケイエムシネマ企画プロデュース公演

『アイコン ～息子がクスリに染まるとき』

原案：谷川 良 作：三島 ゆたか 演出：国枝 量平

企画・プロデューサー：山下 真理

劇場：サンモールスタジオ（地下鉄丸の内線新宿御苑前駅徒歩3分）

東京都新宿区新宿1-19-10 サンモール第3 M-B1F

03-5367-5622（劇場事務所）03-3350-0335（劇場ロビー）

公演スケジュール

2009年11月5日（木）19時開演

11月6日（金）15時開演 19時開演

11月7日（土）15時開演 19時開演

11月8日（日）13時開演 17時開演

チケット料金 前売り3500円 当日3800円

チケット発売 10月1日

キャスト

矢代和央 遠藤たつお 桜木ひろ子 太田美恵 日微貴 珠木ゆかり

桂木ゆき しいたけを 矢嶋俊作

協力

（株）太田プロダクション G-ARIA T-ARTiST（株）ザッコ おにぎりスキッパーズ2

スタッフ

照明：田向澄男

音響：近藤 光

舞台監督：青木かづき

舞台美術：松本わかこ

宣伝美術：市川きよあき事務所

音楽監督：和田サトシ

フォト：大杉隼平

制作：谷口武輝 友貞隆行 成毛友美 高嶋みあり

問い合わせ：ケイエムシネマ企画 TEL 03-3350-9358（平日11時～18時）FAX 03-3350-9294 E-mail kmcinema@sepia.ocn.ne.jp

チケット申し込み専用アドレス(icon.stage@gmail.com)にてお願い致します。

詳しくは <http://www.kmcinema.plan.ne.jp> までご覧ください。担当：山下(090-1103-4519)